

1人が1年間で使用する手提げ袋は、なんと230枚。

買い物の際には専用のバッグをひとつ用意。ふだんのお出かけの際には、小さく折りたためるバッグを常に携帯しておけば、買い物袋は不要になります。また、プラスチックのトレイなども極力避けて、ムダな包装を持ち帰らないようにしましょう。

家に帰れば不要になる袋やトレイは、つくる際にも、再生・破棄する際にも、CO2を排出しています。そろそろ自分の買い物バッグを、当たり前のことにはしませんか。

出典：環境省/環のくらし



買い物袋の持参は ゴミを減らす第一歩

美波町消費者協会からのお知らせ

美波町消費者協会をはじめ、海部郡内各町消費者協会は「レジ袋」の減量化を目指し、「マイバッグ」持参運動を長年行ってまいりました。

平成17年9月(郡内588名より回答)消費者向け「レジ袋」についてのアンケートを行い、レジ袋を減量するためには「有料化」が一番効果があるという結果を得ました。また、平成19年1月(郡内74店舗より回答)事業者向け「レジ袋の有料化」についてのアンケートを行い、83%の店舗より「郡内一斉であれば、レジ袋の有料化を実施してもよい」という結果を得ました。今後、郡内消費者協会は「マイバッグ」の持参率が高まるよう活動しながら、郡内小売業者・商工会・各種団体・行政等と協力して「レジ袋有料化」へむけて、積極的に活動していきたいと思っております。

この美しい美波町を、かけがいのない地球を、これからの未来を担う私達の子や孫へ受け継いでいくことができますように、美波町の皆様にもより一層のご協力をよろしくお願いいたします。